

あいのり

Monthly

2023.12.29



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT



2024 年相場の見通し

(2024.1.5)



年初にあたって、1年の予想はあまり意味のないものと考えている方ですが、敢えて今の段階における今後1年を予想してみます。

尚、以下の相場観・予測はあくまでも現状のメインとなるシナリオであって、今後発生する事象等により随時変更されること、従って今後のファンドの売買を規制するものではないことをご認識ください。

結論からいいますと、米株 (S&P500) は上下に大きく振りながら 5,530 (昨年末対比+15%) への上昇、日本株については、日経平均で少なくとも 39,580 円 (同+18%) 以上の上昇をみています。日本株の上昇は米株が大きく下落することがないことが前提になりますが、いずれにしても、日米株は非常に強いのではないかと考えています。

根拠としては、次の通りです。

現状の米国経済は、懸念点を挙げれば細かい点はいくつもありますが、大事な雇用は現状、失業率が歴史的に低い水準にあり、ほぼ完全雇用の状態になっています。インフレも落ち着きを見せ始めており、今後、原油価格などでインフレは上下があるものの、長期的なトレンドはAI技術の普及や人口構造などから下方向とみています。

米企業業績はアナリストの利益予想ではボトムアップ方式により、今年はEPSで+12%の上昇を見込まれています。多少の景気減速があっても、米政策金利は5.25%と高く、利下げ余地が十分ある点と、QT (量的引き締め) が継続中という牽制があります。(但しあくまでも牽制であって、もしマーケットが想定している6回以上の利下げがあった場合は不況ということになりますのでその場合、株式は大きく売られるでしょう。インフレ率が下がる分として3回程度の利下げが望ましいと考えます。)

このようなファンダメンタルを元に、現状の株式マーケットは昨年の上昇により少し割高感はあるものの、バブルの様相は呈しておらず、多くのストラテジスト・アナリストは昨年大幅上昇 (S&P500 で+24%) していることから今年は今かの上昇か下落とみている向きが多いです。そのせいか、現状MMFへ約6兆ドルの待機資金があります (どれ位大きいかというと日本の株式時価総額が現状6兆ドルですので同水準になります)。これは、下がったら買いたい (逆に上がったらいけない) 主体が多いことを物語っています。

と、ここまでは通常の見方で、これだけですと割高な米株式市場を勘案し1桁程度の伸びと予測するのですが、今年の特異要因としては、まず1つは、大統領選挙をはじめ、各国で重要な選挙が控えていることがあります。但しこれに関しては、いくら予想しても当たる確率は低いので、いずれにせよ、(例えばもしトランプが再選された場合、EVなど一部セクターに影響がでることあったとしても) 米経済全体に悪影響を与える大統領が選ばれる確率は非常に低いと思います。従いまして、ニュースによりマーケットが過剰にネガティブに反応することはあるかもしれませんが、多くの場合、下がったら買いと考えています。

2つ目の強気要因は、AIです。私はAIが18世紀半ばの産業革命、1990年代半ば以降のインターネット革命に次ぐ技術革命になる可能性が高いと思っています。実際は、世の中に認識され始めたばかりで、活用出来ているのは一部の企業だけかもしれませんが、これも時間の問題です。1995年から2000年にかけて米国にてインターネットブームが起きましたが、その頃は日本でもインターネットは今ほど必要不可欠になっていませんでしたが、少なくともここ20年で大きな生産性の向上をもたらしました。AIについても同じような現象が目に見えるようになれば、株式市場はPERの向上により、大幅な上昇につながると思います。

このような理由から現状米国株式が割高に評価されるとしても、更なる伸びが起これると考えます。

日本株については、何らかの要因で米国株の暴落がない限り、大きく上昇する年になると思います。なにせ30年以上続いたデフレを脱却しようとしていることが大きいです。昨年はデフレ脱却元年、今年は身をもってインフレ社会への転換を企業経営者が肌で感じ覚悟すれば賃金も上昇してくると思われます。

デフレ時代は、株は上がれば売って現金にすることに合理性がありましたが、インフレ時代は下がったら買えば報われる世界になります。

日本株は、チャート上40,000円の大きな節目ではしつこく売られる可能性があるのですが今年はチャート上の計算値39,580円（もしかしたら今年6月までに実現する可能性もあります）としましたが、40,000円を大きく上回る時期は遠くない（1~2年程度）でしょう。

このような理由から今年は日米株式が世界から注目され、上昇していく可能性は高いと考えています。

(2024.1.5)



パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎

新 NISA 口座開設申し込み受付開始のお知らせ

2024年1月より新NISA口座開設のお申し込み受付を開始いたしました。

新NISA口座の開設には、「NISA口座開設届書類一式」をご提出いただく必要がございますので、ホームページの資料請求ページからご請求ください。

【トップページ➡各種お手続き➡当社に書類の提出が必要なお手続き➡NISA口座開設届請求フォーム】

新NISAについては、右のQRコードから詳しい資料をご覧ください。



12月のマーケット概要

12月は、中旬に開催されたFOMCで、政策金利やQT（量的引き締め）継続は変更なかったものの、メンバーの見通しを示すドットプロットにて来年の利下げ回数を2回から3回へ増やしたこと、パウエル議長の会見で非常にハト派的な発言となったことから、米金利の下落と米株価の上昇に拍車がかかりました。米10年債金利はその後4%を割り込み、3.8%台まで下落しました。FRBが年間3回の利下げを見込む中、マーケットは2024年3月のFOMCで1回目の利下げと年間6回の利下げまで織り込むようになってきました。これら米金利の低下を受け、米株は、10月末から年末にかけて9週連続で上昇し、12月はNY DOWが+4.8%、S&P500が+4.6%、Nasdaq100が+5.6%で引けました。

一方、日本に関しましては、19日の日銀金融政策決定会合で政策の変更が全くなかったことから、過度に警戒していたマーケットは肩透かしとなり、一時的に株高、円安へ振れましたが、日本株はドル円が140円前半まで円高になりその影響を受け、1か月を通じ、32000円から33700円のレンジ相場となりました。日経平均は6月に高値33772円をつけて以来、約半年間大きなレンジ相場を形成しており、レンジ放れのエネルギーが溜まってきているとみえます。

為替市場では、月初めに148円であったドル円は、月末にかけて140円台まで円高となりました。但し、140円の節目を前に一旦反発しています。

コードモファンド

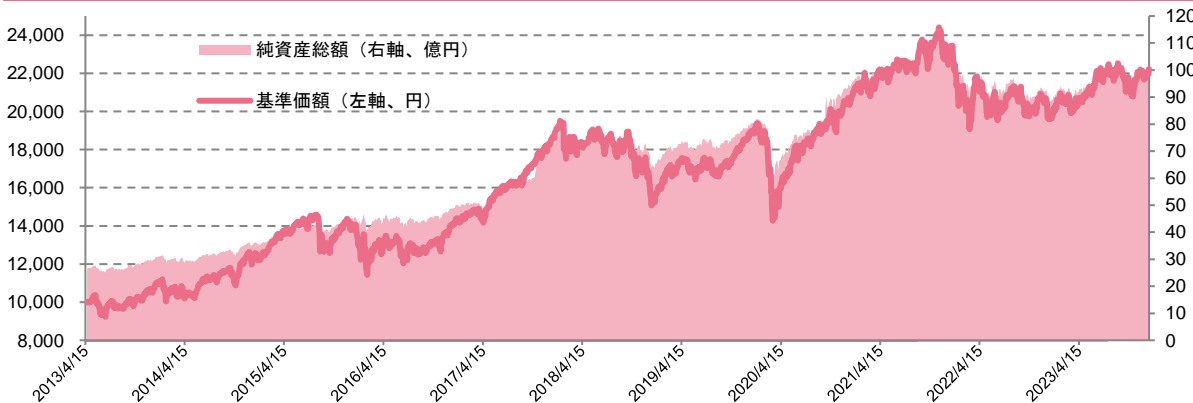
変幻自在ずーっとおまかせ

【12月の運用コメント】

基準価額は月間で+0.60%となり、2023年1年間の上昇率は、+12.78%となりました。

月初から中旬にかけてコムジェスト世界株式、ストーンヘイジ、ベトナムETF、日経ETFを追加する一方、ピクテゴールドを売却しました。月末時点のキャッシュ比率は6%となっております。

基準価額と純資産総額の推移



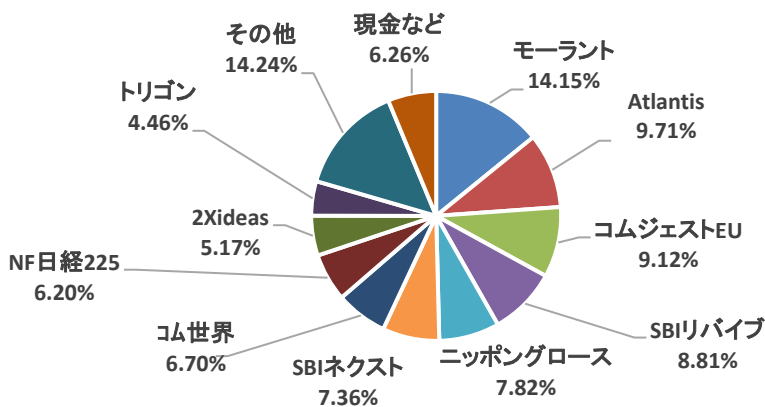
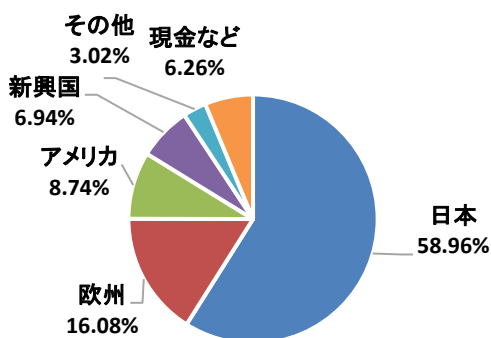
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

モーラント	-0.07%
Atlantis	3.09%
コムジェストEU	3.02%
SBIリバイブ	-1.25%
ニッポングローブ	-3.81%

コードモファンド概況

基準価額	22,223円	信託期間	無期限
純資産総額	9,936百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全18本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.60%	2.60%	0.72%	12.78%	7.08%	42.79%	102.03%	122.23%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(7.38%)	(7.28%)	(7.74%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

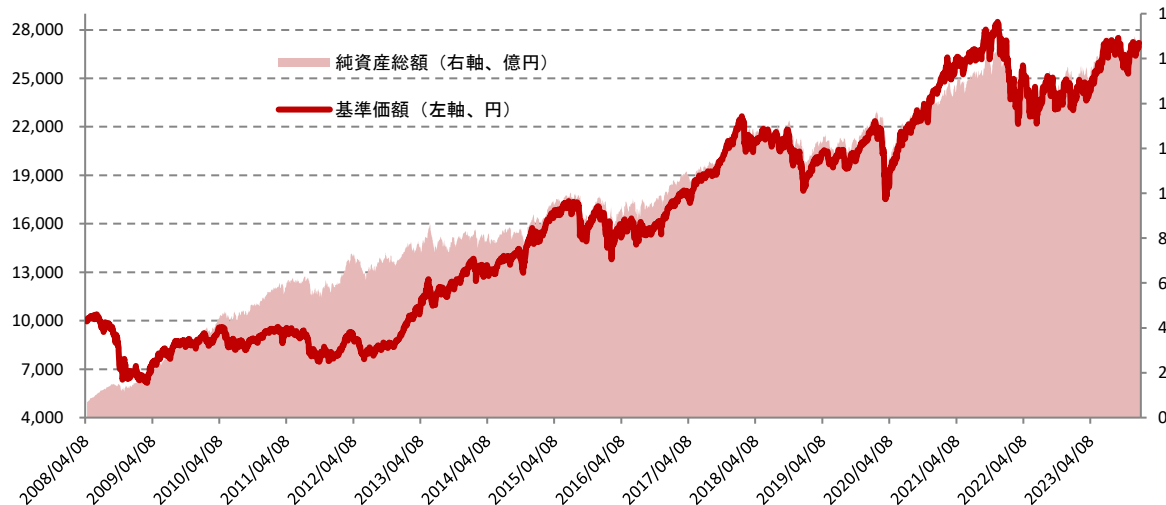
浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【12月の運用コメント】

基準価額は月間で+0.63%となり、2023年1年間の上昇率は、+16.37%となりました。
 シンプレクス中計ファンド、コムジェスト世界株式を追加しました。月末時点のキャッシュ比率は5%となっております。

基準価額と純資産総額の推移



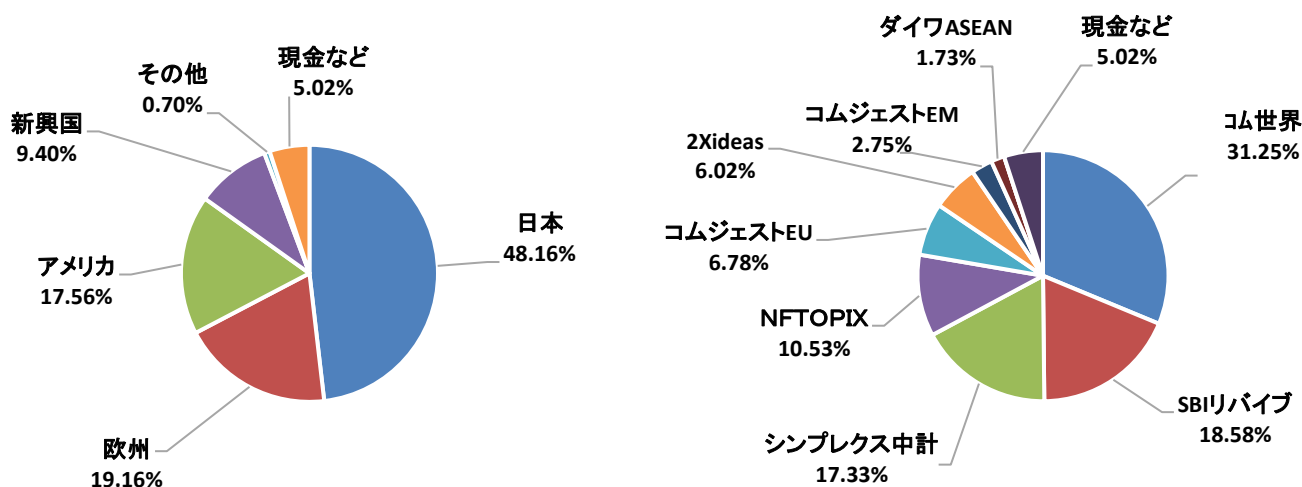
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト世界株式	0.61%
SBIリバイブ	-1.25%
シンプレクス中計	2.14%
NFTOPIX	-0.30%
コムジェストEU	3.02%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	27,185円	信託期間	無期限
純資産総額	1,692百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全8本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.63%	3.91%	0.58%	16.37%	11.29%	45.23%	100.66%	171.85%
					(複利年率) (7.74%)	(複利年率) (7.21%)	(複利年率) (6.56%)

ファンドにかかわる費用

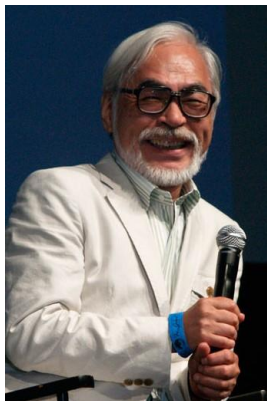
運用管理費用(信託報酬) **年率0.99%(税抜き0.9%)**
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号
 ※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

2024年ちょっといい話。



宮崎駿監督 (C)Natasha Baucas/
Wikimedia Commons

新春なので良い話をしようと思ったら、早々に能登半島地震や羽田空港の事故で、多くの死傷者がでるという悲報が飛び込んできてしまいました。亡くなった方へのお悔みと、被災された方へ一日も早い復興を祈るばかりです。それでも羽田の事故は、脱出口が8つのうち5つが使用できない状況にもかかわらず、379名もの乗員が90秒以内に無事脱出できたということは海外では「奇跡」として評価されています。従業員の日頃の訓練や、土壇場での判断、そして乗客の冷静で適切な対応が奇跡を呼んだのでしよう。

天災をはじめ様々な事故は努力しても100%避けられないケースもあります。しかし、起こってしまった時の被害を最小にすることは、我々の努力で可能だということです。例えば交通事故による死亡は昭和40年代にピークを迎えますが、その後、交通事故の数は倍増したにもかかわらず、死者はむしろ半減しています。まだまだ死亡者は6000人もいて理想のゼロ人には遠いですが、希望が持てる事実です。

もともと我がニッポンは、世界のどこよりも、豊かな自然に恵まれた楽園です。あまりに恵まれているので、他のエリアとバランスを取る為に、神様が地震や台風、噴火などの天災を試練として与えたのかもしれない。しかし、その被害も我々の努力で小さくすることが出来る。つまり「未来は我々の力でどんどん良くすることが出来る」のです。そんなことを気づかせてくれた事件でもあったように思います。

昨年、大きな話題になったのは、大谷選手の契約金でしょう。その1000億円を超える金額の大きさに注目が集まりましたが、他の選手の獲得を有利にするため、ほとんどのお金を後払いにさせた彼の判断にも驚きました。さらに私が驚いたのは、後払いにもかかわらず、金利を一切取らないということです。ちょうどFRBが金利を上げているタイミングでしたから、交渉すればしっかり金利を得ることが出来たでしょうに。まして、元本が大きいので、金利だけでもとんでもない金額になります。

アメリカという国は、「メイキング・マネー」が善である国。そして成功し、お金持ちになった人間は賞賛され、皆から尊敬されます。そんな国で、お金の為ではない生き方を堂々と示してくれた大谷選手をニッポン人として誇りに思うとともに、つつい日頃、「お金」に振り回されることが多くなってしまっている我々は反省したいですね。「お金から自由になる」ことが、パリミキアセットの理念ですから。でも引退後に日本に帰ってくれば日本での納税になるということも期待したりして... なかなかお金から自由になれないですね。

考えてみれば明治までは日本は「お米」が中心の社会でした。税金も「お米」で支払っていました。どんなお金持ちも「お米」を人の10倍も食べることはできません。しかも、三年もすれば腐りますし、保管するのも大変なので、最終的には皆に分配されることとなります。では「お金」はどうでしょう。お金はいくらあっても困らない。腐らない。むしろ金利も付きます。そうするとどんどん貧富の差が広がっていくこととなります。そう考えると「お米」をもっと大事にしたいくなりました。そこでパンやパスタ、シリアルを止め、朝晩を玄米に、お昼も極力お米を食べるようにしました。そうすると、ドンドン体調も良くなって元氣（本来「気」の中はメではなくお米で、お米は元氣の源なのです）になって来ました。マクロビオテックを世界に広めた久司道夫さんは、世界から戦争を無くそうと思ったそうで、その為には米食(玄米食)を広げれば良いと思ったそうです。そうすれば人間が優しくなり、争う事もなくなるとか。

その他良い話は、第81回ゴールデン・グローブ賞で宮崎駿監督の「君たちはどう生きるか」がアニメ映画賞に輝きましたね。同賞受賞は日本作品として初の快挙ですが、ノミネートされた三作品が全て日本のアニメだったのもすごいです。さらに年明けからの東京市場の爆上がり。我がファンドマネージャー宇野の予想通りの展開ですが、果たしてどんな年になるでしょう。みなさま益々素敵な一年をお過ごしください。



パリミキアセットマネジメント
代表取締役会長
多根 幹雄



2024年 新年にあたって



突然ですが、私は、とても「運がいい」んです。例えば、ランチに行きます。たいてい「どこ行きますか？決めてください。」と聞かれます。「今日は。〇〇の気分！」とすぐに決めます。お気に入りの店ですから、行列に並ぶこともあります。たまにラスト一席ですぐ入れたりすることもあります。「今日はツイてる！」と口にします。出る時に、行列が出来てると、さらに鼻高々です。ほぼ毎日「運がいい」と思うことはいくつもあります。結構ちょっとしたことで気分が上がる性格なんです。

昨年末に、「1月の月次レポートに『年明けなんで今年の抱負』よろしく」という話が出たのでそんなことをぼんやり考えてました。そしたら、12月29日の日経新聞に「科学がつきとめた『運のいい人』」一運は100%自分次第一 脳科学者 中野信子さんの本の広告が載っていました。

脳科学者の立場から言うと、「自分は運がいい！」と思っている人は、困難な問題に直面しても「トライしてみよう」と思うし、失敗しても「自分の準備や努力が足りない」と思って頑張ってやり直し、問題解決するので結局、運がいいことになる、という結論です。詳しい科学的な説明はたくさん載っていて、さすがだな！と十分納得できますが、本の中に「人の命は、精子と卵子が会うことで生まれます。」のところからは、「人類の歴史の結果としてとんでもない確率で今のあなたがいます。当然『運のいい人』であるはずです。」と結論付けています。

この話は、なんと47年前、就職活動の時に当時のパリミキの専務から聞いた話（「人間の歴史」として採用セミナーで講演）です。大学では、前年まで先輩方が、「そんなに高望みしなければどこでも入れる」と豪語していましたが、私の就職活動時は、状況が一変して就職難になっていました（「運が悪い」と思っていました）。その日も、いくつかの企業の面接を受け、面接官の反応に意気消沈していた時に、偶然、会場の下の階で開催されていたパリミキの就職セミナーでこの話を聞いて目からウロコ、一気に気分が晴れて、パリミキに入社しました。

入社以来、店舗に配属され3年ほどで移動があり、本社スタッフになってからも、だいたい3年ごとに新たな仕事についてきましたが、このパリミキアセットでは、昨年10年を越え、わたしの社会人人生で一番長いキャリアになります。この1年も、「私の強運」に皆様に、大いに「あいのり」していただけるよう頑張っていきたいと思っています。



パリミキアセットマネジメント
代表取締役社長
磯野 昌彦



あいのり仲間



2023年11月たねころ山キャンプにて

3回目の登場になります。

投資を始めてから、もう10年以上になりました。

今は、多くの直販投信のセミナーを受けて来ましたので、無茶な投資はしておりませんが、初めの頃は、知識も無く「先ずは実戦主義」であったため、運よく致命傷には至りませんでした。投資の経験としてはあちこち傷だらけの状態です。

その中から、「苦いコーヒー」の話をお話しします。外貨預金を主な投資としており、未だ直販投信に出会っていない頃の話です。休みでたまたま家に

いた時、外貨預金を行っているメガバンクから、一本の電話があり、最近の低金利で利息が少ない状況に対し、良い解決策の紹介を是非させてほしいとの誘いでした。

貰えるお金が増えるのならと、このこと銀行の誘いに乗って窓口に行ってしまった時点で鴨ネギ確定。仕切りがある窓口案内され、一杯のプラスチック製のカップに入れられたコーヒーが出て来ました。銀行で経験したことのない扱いを受けたので、「自分は特別」と勘違いをし、これで警戒心が薄れました。※中身は、安物のインスタントでしたが。

購入手数料は掛かるが米国の有名な金融機関の商品で、満期まで保有していれば、手数料以上の利子が得られるものが提案されました。手数料に躊躇いはありましたが、満期の額に目が眩み契約。毎年、満期となる年が近づいているのを楽しみに待ち続ける日々。ところが予期せぬ突然の米国発リーマンショック事件が発生。続いてアルファベット3文字の金融機関も破綻危機の報道を聞いた時、まさにその金融機関の金融商品を購入していた事に背筋が凍りつく。

パニック状態で電話を掛けるが、銀行は取り合わず、アルファベット3文字の窓口は、話し中で繋がらず。奇跡的に破綻が避けられた報道が出た後には、窓口との電話が繋がり、途中解約の手続きを依頼。戻って来たお金は、半分に減った額。

直販投信のセミナーで聞いた「マーケットの損は、マーケットで取り返せ。」を頭の中で繰り返し、心の中では号泣しながら残ったお金で、ここぞと思う個別株を購入。

運良く復活して結果良しにはなりましたが、あの苦いコーヒーではなく、美味しいワインや食べ物が愉しめて、安心して投資信託の運用を任せられるパリミキアセットマネジメントがある今は、とても貴重だと思います。

北林 徹

北林さん、セミナーでも、イベントでも、いつもニコニコ優しい笑顔でご参加いただけてますが、そんな苦いコーヒーの思い出があるんですね。

新NISAで、資産運用ブームが来ていますが、やっぱりブームにかこつけて、いろんな怪しい話も出てくるんでしょうね。そうした怪しい話に引っかかる方をなくすためにも、我々が頑張らなくちゃいけないんですね。

磯野



2024年の抱負



赤穂岬（兵庫県赤穂市）より
2024年元旦 撮影：森京子

元旦から龍の目にまるで魂が入るかのような初日の出を見ることが出来、幸先の良いスタートを切りました。

今年は、パリミキアセットに入社して11年目の節目の年となります。心機一転、新しいことにどんどんチャレンジしたいと思っています。



森 京子

今年は「積極性」を特に意識して、明るく勤勉にいきましょうと思います。



宇野 隆一郎

今年は甲辰（きのえたつ）の年です。

甲は、十干の始まりにあたり、生命の芽吹き、物事の始まりを意味します。

辰は、十二支唯一の架空の生き物であり、竜巻や雷などの大自然の躍動を象徴し、物事の隆興、活性化、目標に向かって突き進む意思を秘めています。

その両方を備えた「甲辰」である2024年は、新しい物事が始まり、成長を促し、活気溢れる年になるといわれています。

新NISAも始まり、貯蓄から投資への流れが活発になる一年になるかと思っています。

皆様と「あいのり投資」でしっかり進んでいければと思います。



渡辺 友子

2023年はあっという間に過ぎてしまい、短い1年に感じてしまいました。

2024年は「一日一日を大切にすること」を心掛け、自身の成長とこれまでになかった発見を目指して頑張っていきたいと思います。



入江 孝之

本年もよろしくお願ひ申し上げます

2024



オフィス移転のお知らせ

パリミキアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 磯野 昌彦

2月中旬に、オフィスを京橋三丁目から銀座二丁目に移転いたします。
2014年に半蔵門から京橋にオフィスを移転しまして10年になります。皆様のご支援もおかげで業容も拡大してまいりまして、手狭になってきたこと、また、最近の資産運用に関する関心の高まりにも対応すべくゆとりのあるセミナールームを併設します。

以前、銀座2丁目ポーラビルのパリミキ銀座店でセミナーを開催していたときには、人が集いなくなる場所であったようで、大勢のみなさまにお集り頂いておりました。

新オフィスは、「ぷらっと銀座」にと気軽にお越しいただける場所にしたいと色々な仕掛けを考えております。セミナーに限らず資産運用のご相談など、皆様のお越しをお待ちしております。

新オフィスの概要

◆所在地

〒104-0061

東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル 2F

◆電話番号

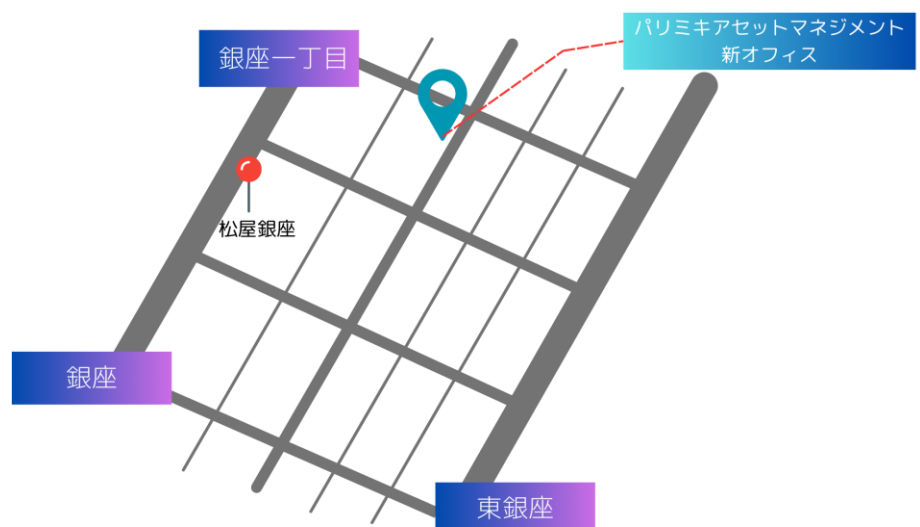
【お客様専用無料通話】0800-5000-968

※電話番号はオフィス移転前と変更ございません。

◆ファンドに関わる変更点

・特に変更はございません。

オフィス移転日：2024年2月13日



2月はオフィス移転のためセミナーの開催はお休みとさせていただきますが、新しいオフィスのお披露目会を開催予定です。

2月末頃に詳細のご案内を予定しておりますので、楽しみに待ちください。



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。**投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。**

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

お客様サポートチームからの大切なお知らせ

【NISA口座開設について】

1月から新NISAが始まりました。

コードファンド・浪花おふくろファンドは、「成長投資枠」で最大1200万円まで(年間240万円まで)非課税で運用出来ます。新NISA口座の「成長投資枠」で、これまでと同様に毎月つみたてサービスのご利用やスポットでのご購入が可能です。

昨年末に当社に口座開設されているお客さま宛てに、NISA口座開設手続き書類をお送りしております。

NISA口座開設をご希望のお客さまは、手続き書類をご返送ください。

※お手元に書類がない場合は、電話またはホームページNISA口座開設届請求<https://pmam.co.jp/form/nisa/>からご請求ください。

【「令和5年分特定口座年間取引報告書」の発送について】

「特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設されたお客様へ販売会社が作成・交付するものです。

今回「令和5年分特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付(マイページ)しました。

なお、年間一度もご換金(解約)されなかったお客様について郵送および電子交付(マイページ)を省略させていただいております。

郵送をご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。

なお、税制改正に伴い、平成31年(2019年)4月1日以後に確定申告書等を提出する場合、「特定口座年間取引報告書」の添付書類の提出が不要となりました。

【「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の発送について】

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を郵送および電子交付(マイページ)しました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2023年10月～12月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後の取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

※今後、交付目論見書について「電子交付(メールでの交付)」、「不交付の同意」をされるお客様は、当社業務管理部までお電話にてご連絡ください。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、2月5日(月)です。

2月分金額変更・中止・再開締切日… 1月23日(火)

3月分新規・口座変更締切日… 2月1日(木)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上(再開を除く)でも承っております。

株式会社パリミキアセットマネジメント
(受付時間: 平日9時～17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: support@pmam.co.jp

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT